



今年も一年間大変お世話になりました

震災のこと

今年は、元旦早々に起きた能登半島地震は大変な衝撃でした。その後も再三にわたり震災に見舞われました。再建は遅れ、日々の暮らしがままならない中で、仕事の再開に向けての強い生き様に心打たれました。一年を経る今の時期に、思いはあっても実践に結びついていない現実を憂い、支援の形を検討したいという思いでいます。いつ起こるかわからない震災や自然災害への日常の備えも心していきたいと思います。



訪問看護とかんたきの6年間に感謝申し上げます。

12月1日に武蔵野市に移転して訪問看護とかんたきの事業は丸6年経ちました。三鷹市大沢で20年間すすめた事業の90%を社員に暖簾分けをした上での移転と新事業への取り組みでした。訪問看護は発足時の名称そのままに新地域に移転、武蔵野市初のかんたきはゼロからのスタートでした。振り返れば、ご利用者のご家族、行政の後押し、スタッフの協働を背景に、困難を乗り越えての丸6年でしたが楽しい思い出がいっぱいの歩んできた道ができました。

地域のみなさまから楽しく元気を頂いている「日曜カフェ」などの交流機会、事業を支え、大きく成長している心優しいスタッフと新しい管理者に山本英子を迎えてのたんぽぽの7年目を迎えた歩みにはとても幸せに思います。関係者の皆様に心から感謝申し上げます

<ノーベル賞に日本被団協が受賞したことに関して>

核兵器で被爆したただ一つの国である日本。80年もかかり、今回、被団協を始めとして、核兵器も戦争もない世界をと地道に活躍されたことが評価されてのノーベル賞受賞に大きな感動を頂きました。今年の嬉しい大ニュースです。

ご存じでしょうか？たんぽぽの建物の正面に「淳子さんの時計」が時を知らせています。被爆された笠井淳子さんからのプレゼントですが、彼女は永年余病に苦しみ、最後はかんたきで他界されました。被爆2世の息子さんのライフスタイルは核廃絶を目指すその活動が中心と聞いています。

三鷹・武蔵野市内にも200名以上の方が被爆され、報われずにおられることを耳にしたこともあります。戦後80年がすぎた今もです。

この受賞が火種となり世界中が、核兵器も戦争もやめることに貢献できるきっかけになることを心から祈ります。「淳子さんの時計」は、見上げるとこの受賞の知らせに少し微笑んで時を刻んでいるように見えます。



<たんぽぽの年末年始休暇について>

たんぽぽの年末年始休暇は12月28日～1月5日迄です。かんたきのご家庭都合やお一人暮らしをされている方が多くおられます。デイは30日が最後で1月4日から開始します。緊急等はお知らせしている番号にご相談して下さい。来年はお健やかな年になりますように。

風邪や様々な感染症が流行しています。お元気でお過ごしくださいませ。

2024年12月15日

有限会社多摩たんぽぽ介護サービスセンター 取締役 千葉信子